**学校法人 文化学園　川口文化幼稚園**

**令和５年度学校関係者評価　報告書**

**川口文化幼稚園　学校関係者評価委員会**

**令和6年8月**

内容

[1．報告書骨子 ２](#_Toc125624366)

[2．学校関係者評価委員 ２](#_Toc125624367)

[3．学校関係者評価委員による自己評価への提言 ３](#_Toc125624368)

[3-1　保育の計画性 ３](#_Toc125624369)

[3-2　保育の在り方、幼児への対応 ３](#_Toc125624370)

[3-3　保育者としての資質や能力・良識・適正 ３](#_Toc125624371)

[3-4　保護者への対応 ３](#_Toc125624372)

[3-5　地域の自然や、社会との関わり ４](#_Toc125624373)

[3-6　研修と研究 ４](#_Toc125624374)

[4.　学校関係者評価を受けて](#_Toc125624375) ４

# 1．報告書骨子

学校関係者評価委員会（以下、等委員会）は、「川口文化幼稚園 学校評価実施要綱」に基づき、項目別自己評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者により本校の学校運営・教育活動について検証・助言を得ることを目的として実施している。

当委員会の委員は外部委員のみで構成され、本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から選考し、委嘱している。委員構成は下記　　「2.学校関係者評価委員」に記載の通りである。

　本報告書は、令和4年度の本校の取組みに対し当委員会としての評価・助言を得た内容をまとめ、作成したものである。

　本報告書の作成にあたり、当委員会の委員の方々には多様なところ尽力いただき、深く感謝申し上げる。

# 2．学校関係者評価委員

**評価実施者：**委員4名（企業関係者２名、保護者・地域住民１名、元教育従事者１名）

**学校関係者評価　評価方法について**

令和５年度の学校関係者評価は書面により実施した

評価方法は採点方式とし、下記の基準にて評価をいただいた

・適切な状態を４点

・ほぼ適切な状態を３点

・やや不適切な状態を２点

・不適切な状態を１点

本資料においては、委員４名の平均評価点集を算出の上、小数点第１位を四捨五入した４点数を記載した。

**配布資料：**川口文化幼稚園 学校評価実施要項

　　　　　項目別の自己評価結果表

　　　　　学校関係者評価　評価記入シート

**本園の教育目標**

1.幼児の心身の調和を図り、健全な心身の基礎を養う。

2.基本的生活習慣と正しい社会態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳性の芽生えを培う。

3.自然及び社会の事象について興味や関心を持たせ、思考力の芽生えを培う。

4.人の話をきく正しい態度を養うとともに、ことばの正しい使い方を身につける。

5.幼児に自主的、自発的な活動を促し、自立の精神を養う。

6.幼児の心身の発達の実情をよく理解し、その個人差に応じて適切な指導を行う。

7.家庭との連絡を密にし、家庭における教育と相まって教育の効果をあげる。

# 3．学校関係者評価委員による自己評価への提言

　令和５年度自己評価において、本校が設定している評価項目に対する委員からの提言は以下の通りである。

## 3-1　保育の計画性

**【学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：３点　ほぼ適切**

・全体を通して高い水準が保たれていて方針や理念の共有が図られている。

・園全体として、幼児が自ら活動を展開していける場や空間を構成している。

安心感を与え、遊びこめる環境を提供している。

・園長と教職員との間で意思疎通を図るための話し合いを増やすことで改善に向かう項目

があると見受けられる。

・園の方針、園長の考え、教育要領についての話し合いの場を設けて、確認、共有を増やすことにより一層の向上を図ることができる。

## 3-2　保育の在り方、幼児への対応

**【学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：4点　適切**

・健康や安全への高い配慮をはじめ良いかかわりが出来ていると見受けられる。

・教職員の前向きな姿勢が見られ、今後の保育の在り方や対応に期待ができる。

・園児を一人の人間として尊重しつつ保育に向かっている姿勢が感じられる。

・体調面のみならず、精神面に関する思いなどを受け止める保育をしている。

## 3-3　保育者としての資質や能力・良識・適正

**【学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：３点　ほぼ適切**

・それぞれの立場として園児や保護者に向き合い組織の一員として取り組みをしている

ことがうかがえる。また、園児一人ひとりの気持ちに寄り添いながら教諭として社会の

仕組みや環境も含めて幅広く保育にあたっていけると良い。

・保育者として、幼児目線で喜びや苦しみを共有できる素晴らしい資質と能力を持ち、保育

にあたっている。

・組織の一員の在り方として、教諭一人ひとりが保育の楽しみや喜びを持ちつつ、行動が

なされている点の評価が高く頼もしく感じる。

・分掌・体制の評価が低いため、組織として合理的かつ職務内容等を明確にすることにより

改善される。

## 3-4　保護者への対応

【**学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：４点　適切**

・教職員一人ひとりが非常に高い意識で保護者と向き合い、しっかりと対応をしていること

がうかがえる。

・組織の一員として、他教職員との連携、情報の共有がしっかりとなされている。

・保護者対応の基本的なこと以外にも、付加価値として保護者の知りたい情報をわかり

やすく伝えられている。

・保護者から対応が丁寧、包容力があるなどの意見があり、教諭としての日々の研鑽が

なされている。

## 3-5　地域の自然や、社会との関わり

【**学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：3点　ほぼ適切**

・世の中の状況なども含め、地域との関わりを持つこと自体が難しいと感じ取れるが、その

中で少しでも地域との関わりを増やしていけると良い。

・地域に根付く幼稚園という観点として、開放的な風土を醸成できると良い。

・小学校との連携、地域への開放と支援に関して、課題があると見受けられる。

・地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合う機会を増やすと良い。

## 3-6　研修と研究

【**学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：３点　ほぼ適切**

・日常の業務、保育等が優先であるが故、優先順位が低くなる事は否めないが新たな視点

を持つ為にも、研修の機会の提供する事や自らの積極的に参加をする姿勢が必要である。

・指導計画等で課題がみられる為、そこを改善されることでより高度な研究が期待できる。

・研究、研修への場に積極的な参加をするためにも、オンライン研修などを取り入れること

により改善が見込める。

・日々の業務に加え、自らの専門性に関する研究を行うのは難しいところもあると鑑みて

　園全体として研修の場を提供するのも一つの方法である。

# 4.　学校関係者評価を受けて

園内で実施された教職員による自己評価結果をもとに、外部委員の方々に　学校運営ならびに教育活動について具体的なご意見を頂戴し、ご尽力いただいたことに感謝申し上げます。

今回いただいた委員の方々の提言では、昨年度からの評価を維持できた項目が多数あった点や改善が見られた点、改善の余地がある点などが明確となりました。また、次年度に向けての気付きも多く、園長をはじめとする教職員と職員会議等を通して、今後の保育需要や地域や自然との関わり方、人として、教職員としての研修、研究に関わることについて、対策を図っていきます。

　今後とも自己評価ならびに学校関係者評価を継続して実施し、本学の教育環境のさらなる向上に努めていく所存です。